

会 議 録

会議の名称	平成26年度第8回富士見市社会教育委員会会議
開催日時	平成27年3月19日（木）午後7時～9時
開催場所	教育委員会 2階 会議室
出席者	高野昂子委員、西山ひろみ委員、武田秀規委員、 長ヶ原美博委員、田尻 円委員、小森和雄委員、 事務局（生涯学習課主査）
欠席者	児玉亮一委員、本間雄一委員、千葉純平委員、岩村沢也委員
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	<p>1. 協議事項 (1) 社会教育関係団体への補助金交付について (2) 報告書の作成について (3) その他</p> <p>2. 報告及び連絡事項 (1) 平成26年度生涯学習フォーラム (2) 教育委員会制度改革について (3) その他</p> <p>3. その他 *次回会議日程 日時：平成27年4月16日（木）19時～ 会場：教育委員会会議室</p>
会議資料	<p>① 次第&原稿6種類 ②公民館だより（3・4月号） ③難 波田城だより ④社教連会報 ⑤中学生の主張大会作文集 ⑤平成27年度社会教育関係団体に対する補助金の交付に ついて（案）⑥教育委員会制度こう変わる</p>
会議録確認	武田秀規委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会 事務局から、配布物確認を行う。

◇ 議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 協議事項

【議長（武田氏）】

(1) 社会教育関係団体への補助金交付について
事務局から説明してください。

【事務局】

資料により説明。

来年度補助金を執行する事業として、「こども大学」をやっております。補助金額は34万円です。対象団体は「子ども大学ふじみ実行委員会」です。

学長は星野市長で、副学長が淑徳大学の山口学部長と森本教育長です。社会教育委員でもあります岩村先生が実行委員長ということで運営を行っております。

実施期間・回数は平成27年6月～9月、小学4年生から6年生を対象に行ないません。内容は7講座、目玉としては、「ららぽーとふじみの運営のひみつ」と「宇宙からのおくりもの」です。その他、ピアザふじみを利用した食育講座や、漢字の成り立ちの講座などを行う予定です。

この「子ども大学ふじみ実行委員会」に34万円の補助金を交付したいと考えておりますが、皆様からご意見をお願いいたします。

【委 員】

対象は去年も60人ですか。応募者はどのくらいいましたか。

【事務局】

去年は120～130人くらいの応募がありました。

以前はもう少し倍率は高かったですが、今年度から「子どもスポーツ大学」も一緒に開催しており申込者が分散した。

来年度は秋に「子ども芸術大学」も地域文化振興課で行いますので更に「子ども大学」への応募は少なくなる可能性があります。

【委 員】

「子どもスポーツ大学」へは補助金を出して、それに関して審議を行うのか？ 社会教育法13条の団体ではないのか？

【事務局】

「こども大学ふじみ実行委員会」は社会教育関係団体ですが、「子どもスポーツ大学」ふじみ実行委員会」社会教育関係団体ではなくて、スポーツ団体ということで、社会教育法の中の社会教育関係団体には属していません。

【委員】

「子ども芸術大学」も社会教育団体にはならないということですね。
今回の報告書でも書いているが縦割りそのものということですね。

※「子どもスポーツ大学実行委員会」はスポーツ基本法第34条に規定される「スポーツ団体」のため補助金に関して審議を行う必要はありません。

参考：スポーツ基本法

第三十四条 地方公共団体は、スポーツ団体に対し、その行うスポーツの振興のための事業に関し必要な経費について、その一部を補助することができる。

【委員】

川越市もスポーツ関係を市長部局へ全部もっていっています。生涯学習課そのものをなくして、地域教育支援課と市民スポーツ課になっています。

【委員】

川越はラジオ体操を地域教育支援課と市民スポーツ課で扱っていて怪我をしたら両方から保険が出るというシステムになっている。
少年少女スポーツ大会も、両方で関わっている。仕事内容がスッキリしきれていない。

【事務局】

ふじみ野市では、生涯学習課から社会教育課にまた戻すらしいです。

【事務局】

子どもスポーツ大学は生涯学習課のスポーツ担当がやります。学長は市長に変わりないです。27年度は「子ども芸術大学」が加わります。

【委員】

「子ども大学」一つで、「スポーツ科」とか「文化芸術科」とかすればいいのに。

【委員】

子どもは子どもで括った方がいい。けどなかなかそうはならない。市長が言ったら各課が良い顔するために競い合ってるように見えてしまう。

【委員】

カレッジではなくてユニバーシティにしていけばいいですよ。一発バーンとやって、これで募集、これで募集と括っていく方が分かり易いと思う。各担当課の人が集まってそれこそ実行委員会で、一つになってやればいい。

【議長】

市長のリーダーシップで、先々そういうことがあるんだったら、今の内からやった

方がいい。出来上ってからまとめるのは大変だと思う。

【委員】

基本的には皆さんやることに賛成だと思うけど、やり方について俯瞰的にやったほうが良いのではないかと思う。

【委員】

去年の補助金はいくらでしたか？

【事務局】

市が24万円です。県から補助金が10万円出ていまして、合計34万円ですね。

【委員】

もう県は出ないんですか？

【事務局】

県からは3年だけです。最初の年が半分出て、翌年はさらにその半分で、段々減って行って、3年で全部切られるということです。

【委員】

これは講師でお出でになる方も、殆どボランティア的な感じでみなさんやってくさっているということですね。ここで掛かったのはバッチを作るとか、保険代とかそんなんだろうという気がしますね。

【事務局】

その通りです。

【委員】

学生さんたちのお手伝いはアルバイト代くらいは出していますか。

【事務局】

そうです、多少のものは出していますね。

【委員】

この学生さんは、岩村先生が連れて来ている？

【事務局】

そうです。

【委員】

彼らは色々やっているんですよ。鶴瀬よさこい祭りの実行委員会に入っていて、時間管理などやっている。みずほ台の西口商店街の祭の時にも、実行委員会に学生が入っています。地域振興とかの授業があるので、入れているんだと思いますね。彼らに

とっても自信になるし、頼んだ方も人手があって助かるしということ。

【議長】

では補助金についてはよろしいでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。

【議長】

では（２）報告書の作成についてです。

目次の順番に並べますと、

- 1、はじめに
 - 2、現状と課題
 - 3、意見と考察
 - 4、具体的な提案 (1) モデル事業 (2) ホームページの活用について
- となりますね。

【委員】

「はじめに」と「課題」を書きました。法律の所はいいのではないかとということでしたので、バツサリ切りました。1、はじめに 2、現状と課題 の所まで行ったということで、3、意見と考察 を検討して、調整したいと思います。

【議長】

それでは、「意見と考察」を検討します。高野委員お願いします。

【委員】

3人で纏めようといったんですが、出来ていなくて、羅列なので、無くてもいいかなと言う気がします。

【議長】

会議の記録を良く取っていらして、書かれているが、話題となったことを羅列しているので、少し整理して纏めるといいですね。

【委員】

田尻さんのが纏まっているのでいいかなと思う。

【委員】

端折り過ぎているので、もう少しあった方が良く思う。

【議長】

社会教育委員会議の中で出た意見が書かれていて、高野さんのと田尻さんのを繋げていくとよいのではないかなと思うが、いかがですか。

【議 長】

どうでしょう。お二人に先ずこれを纏めてもらうことだと思ふ。

【委 員】

何を残して、これはいらぬと言つていただけるとありがたいです。

【委 員】

低体温のことはすごくショックだったから、これは皆さんに知ってもらいたいと思ふ。

【委 員】

教育相談室や家庭教育アドバイザーの方から聴いたお話を載せるのはいいと思ふ。我々の中でこういう意見が出た。その結果としてこうした方がよいという書き方なのかなと思ふ。

【議 長】

現状と課題は概論的な、新聞記事のような一般論としてのことが書いてあって、こちらの意見・考察では、本市としてはどうなのかということですね。

【議 長】

意見の纏め方によって、現状と課題の方で、少し文章の手直しをする必要が出てくるかも知れない。意見と言う所は、本市における現状に対する意見ということで載せていただいた方が、もう少し2番目の「現状と課題」のところに響く、具体的などころを出して頂いた方がよいかなと思ひます。

【委 員】

具体的には、高野さんが書いているヒアリングの内容を、意見としてこんな話がありましたと書いていけばいいんですかね。

【議 長】

肩書きに応じて受け取り方が違ふことがあるでしょうから、家庭教育アドバイザーなどの肩書きを入れた上で、こういう人はこういう意見を言つていたと、箇条書きにした方がくつきりしてくるのかも知れない。

【議 長】

例えば、田尻さんだと意見と考察が半々になっていると思ひます。考察だけで纏めると、この半分になる。

【委 員】

モデル事業に繋がるようにと言われたので、モデル事業に繋がる所を取り出して繋げていけたらいいのかなと思ひます。

【議 長】

というところで、モデル事業についてです。モデル事業はなんとなく繋がっているかなと言う気がしながら、纏めてみました。前回と内容はほとんど一緒です。表にしたかそうでないかということです。少なすぎて申し訳ないようなものです。

【議 長】

その次にホームページの所に入ります。

「あればいい」とか「わかりやすいと思う」とか、謙虚な言い方でなく、「こうだ」と言い切り型の方がいい。

【議 長】

もうちょっとビジュアル的な、こんな感じというイラストでもいいので、画面のイメージ図でもあると良い。例えば、イベント関連のページ云々というところで、「一覧で表示できるようなページ」というのは具体的にはどういうものか、絵でなり書いてくれればいい。言葉にすると非常に難しいが

【議 長】

ホームページについては、この会議でほとんど出ていないので、千葉さんのオリジナルでお願いしたような形です。この際、皆さん方の意見をお願いします。

子育ての保護者同士の交流というのは、行政がやるのは難しいような気がする。民間でこういうのはやってそうな気がする。

【事務局】

掲示板みたいな感じでしょうか。

【議 長】

こういう保護者同士の交流を目指すか、がありますよね。そういうQ&Aとかの扱いもある。ヤフーの知恵袋もありますよね。

【議 長】

これは優先順位的には下がってくるような気がする。

【委 員】

「既存の各学校が発信、気軽に閲覧できるページ」、これは難しいですよ。週一回、学校の更新するだけで大変。PTA関係の連絡をそれでやろうとしたことがあるんですが、とても管理が出来ない。専用の人を各学校・何校かに一人置いてやるならいいが、教務主任がやろうとすると出来ない。

【委 員】

県職の人はそれに関われないでしょうから、市職の臨時の方に全部お願いしました。規約だけで返答するのが精一杯です。それを各学校が内容的な物をどこがチェックを行うのか、教育委員会が自由にさせてくれないと思うんですよね。教育委員会を通して担当を付けてチェックをしないとイケない。このイメージはどうも学校が、住民が

やっているようなイメージで捉えてしまったんですが、それは難しいと思う。

指導を予想できる段階で、学校教育課が子どもの指導に関することは、指導課の方でこういうのをやっていますという文章でも出してくれれば、例えば、勝瀬小学校で、こういう催しをやるそうですと指導課に送れば、チェック機能が一つ働いて流せると思うんですけども、学校が勝手に「こういう人が来ます。皆さん来てください。」とは簡単には公立学校は難しい。

発信の仕方を、例えば、指導課の方に振ってもらって、指導課の方で市のホームページに、「こういうことを勝瀬小学校ではやっています」と言うように載せる。

川越では検討委員会を作った時にやろうとしたんですが、役所に指導主事を一人専門に置かないと、とてもやれないだろうと。学校が自由に作ったものを出していくとなると、なかなか難しいと思いますね。

【議 長】

教育委員会で纏めて管理して、富士見市の小中学校で作るイメージで、一括して流せば、ただ情報は各学校が上げてくるかどうかで、来ない学校は全く出てこない。それはあってもしょうがない。それを良しとするかどうかです。

【委 員】

川越は管理課というのが全部見てるのですが、それでも変わらないですものね。1週間に1度変えるという努力はしてきたが、厳しいです。土曜日に行って仕事しなければ出来ない。

【議 長】

写真1枚上げてコメント1行2行付けるぐらいだけでもいいよ。と言うのだったらそれでいいと思うが。

【委 員】

「あいさつ文が変わりましたね」という反応はあるんですよね。自分が転勤になる学校の保護者とか職員が見ていて、「読みました」という反応はありますから、興味はあると思うんですね。

【議 長】

「学校便り」というのを毎月出しますよね。あれをアップして、メール上で全部の学校のが見られれば、要するに、家庭と地域の回覧でしか回ってきませんから、家の子供が卒業してしまったから、回覧でしか見られないので、そうすると学校でやっている行事が全部出ますんで、とりあえず・・・、

【委 員】

「学校便り」が載りますと、学校の考えとか動きが見えるんですよね。どういう風に作っているかということ、私はA-4であいさつ文と、裏に行事とか子どもたちがどういう風に頑張っているかとかを載せた。各学年全部ですね。それだけでも違うかなと思いますね。

【委員】

回覧で回って来ますよね。小学校と中学校ね。楽しみに読んでいます。

【委員】

自分の地域の学校だけですものね。他の地域の学校のは分からないので。10 幾つもかと言うことはあるんですけどね。

【委員】

ここでいう「子育てに関する情報」と言うと、やっぱり学校でこういう講演会をやります。それを開くかどうか。開いてやれるかどうか、会場の広さもある。視聴覚室でやろうとしたが、ちょっと多くなると体育館にしようかとなる。そこまで開くとなると、確かに子育てとかちゃんと情報を発信しながら各校がやって行けば少しは寄与するのではないかと思う。先ほど言われたように関心があって、各学校から一人二人来れば相当なものですね。30人近くに増えるわけですから。

【議長】

学校の発信と言うことであれば、PTAも含めてだと思のですが、それを踏まえた上で、こちら辺を書き変えていかなければ、あまり非現実的なことを書いても・・・

そういうことを言うと、PTAがそれぞれホームページを作って発信すれば一番いいと思うんですけども、そうやっているPTAって無いですね。それが出来る人が常時役員さんに居ればいいが。

【議長】

広報誌は1学期に1回ずつですもんね。

今の紙媒体、市の広報だとダウンロード出来る訳じゃないですか。そういう形でも何か出来れば。する人がいるかどうか別にして。

その辺が、「学齢に合ったページの充実」と言う所からそこに飛べば、興味ある人は見るでしょうしね。実際にそういうことになってしまうと、職員さんの仕事が増えてしまう。

【委員】

総論があって、富士見市の現状があって絞り込んだ課題が出てきて、解決策が出てくるのではないかと思っている。

【議長】

私が持っていたイメージは作っていただいた資料のとおり、概論的なものがあったって本市の状況があってというイメージを持っていた。

最初のとっかかりは社会教育委員会議のオリエンテーション等を行う中で生まれてきた課題である。

出来れば次の時にはゲラではないが、表紙なども付けて纏まった状態に出せば良いと思う。

【委員】

では担当でやったほうがよいね

【議長】

この場で全員で議論するのは難しい。個別でやるしかない。
そこまで出来上がったものを岩村委員に送る。

【事務局】

それぞれで原稿を作っていてデータで生涯学習課へ送ってもらいたい。
3月中にデータを送っていただきたい。

【議長】

ではその方向でお願いします。
小森委員の原稿は千葉委員は見ているか。

【委員】

私の原稿を見て、千葉委員は原稿を直してくれている。

【議長】

小森委員の原稿は良く出来ていると思う。

【委員】

全体として読んだ時にどのようになるかが問題。

【議長】

報告及び連絡事項に移ります。

(1) 平成 26 年度生涯学習フォーラム

【委員】

事例発表は所沢市の社会教育の方針についての発表があった。もう一つは南古谷地区の子どもサポートの発表。会長がリーダーシップを発揮していて、後進が育っている。活動範囲が東邦音楽大学を始め、小、中、高と充実している。その中核を成すのが南古谷ウィンドオーケストラで東邦音楽大学の学生を中心に大人も所属しているを中心とした子どもサポート事業の発表でした。あそこまで行くのは大変だけど、あそこまで回転していくと、次も育ってくるのかなと思ってみている。

【事務局】

この子どもサポート事業というのは放課後子ども教室みたいなもの？

【委員】

もちろんそれも入っているが、色々な団体が集まって行っている。全体の事業。

【委員】

社会教育関係団体の活性化がテーマだったが、シンポジウムの進行をしているのが西部教育事務所の人だったので子ども教育に話が流れてしまったのが不満が残る。

(2) 教育委員会制度改革について

【事務局】

資料のとおり平成 27 年度から教育委員会制度が変わる。富士見市は来年度も教育長の変更は無いので大幅には変わらないが、市長を含めた総合教育会議は行う予定。

(3) その他

「お母さんの勉強室」

【委員】

1 回目が出席が小学生の保護者 18 名、中学生の保護者が 5 名、その他が 19 名、話している内容は凄く良かったので来たらとても勉強になると思う。デジタルネイティブの話等があった。

2 回目が「子どもが健やかに育つために」という内容で教育相談室の先生が講師。小学生の保護者が 19 人、中学生の保護者が 3 人、その他が 11 人だった。小学生のお母さんが関心が高かった。低体温の話等があったし来れば為になる話がたくさんある。人を呼び込むのが課題。

3. その他

(1) その他

* 次回会議日程

日時：平成 27 年 4 月 16 日(木)19 時～

会場：教育委員会会議室

。

5 閉会

【副議長】

お疲れ様でした。来月はららぽーとも開業してますので、そちらも楽しみにしながら、今月中にはまとめたものを事務局へ渡したいと思います。来月は皆さんの顔が揃うと良いなあと思います。徐々に締めに向かって進んでおります。今日はお忙しところ遅くまでお疲れ様でした。お気をつけてお帰り下さい。ありがとうございました。

(閉会)